



年頭のあいさつをする木賊町長

No.1 年賀交歓会に180名が出席

平成17年の新春を祝う年賀交歓会が、1月4日(火)午後4時から鏡石館で盛大に開催されました。式には、町内の各種団体の代表など180名が参加。初めに木賊町長が「今年も町の発展のため、みなさんの協力をお願いします。」とあいさつ。続いて菊地栄助町議会議長などがあいさつを述べました。

続いて、参加者全員で唱歌「牧場の朝」を合唱したあと、祝宴が行われました。

文化講演会



講演する有森さん

No.2 文化講演会で有森さん熱く語る

町文化講演会実行委員会では、バルセロナ、アトラクタ五輪の女子マラソンでメダルを獲得した有森裕子さんを講師に招き、1月19日(木)午後6時30分から文化講演会を開催しました。会場となった町公民館には、4百人を超える大勢の観衆が訪れ、有森さんが語る、幼少時代の苦労話やマラソンを走るようになったエピソード、またオリンピックの思い出話などに真剣に耳を傾けていました。

20歳を迎えてひとこと

成人という節目を無事に迎えることができ、両親をはじめ、お世話になった方々に感謝します。私は、学生ですが知識を高め、技術を磨き立派な看護師になりたいと思います。今後は、社会人としてお世話になります。



浅野 真友美さん

成人を迎えて、この日を境に大人への第一歩を踏み出し、責任ある恥じない行動をしていきたいです。

また、両親をはじめ、今まで育ててくださった方々に感謝し、少しずつ恩返ししていけたらと思っています。



飯村 貴恵さん

成人の日を迎えられる喜びを感じています。まだまだ半人前ですが、成人という責任と義務を忘れず、誇りを持ち、そして、夢と希望を見失わないよう、新しい気持ちで歩いていこうと思います。



小貫 数馬さん

家族や地域の方など、たくさんの方があって今日を迎えることができました。心から感謝しています。

独自の確立した意思とその表現のもと、責任のある行動がとれる大人になるように努力していきたいと思っています。



小坂橋 智弥さん

議長、斎藤健治県議、中学時代の恩師である小野健司さんが祝辞を述べました。

続いて、参加者全員で町のシンボルソングである唱歌「牧場の朝」を斉唱、最後に、小貫旬二さんが「成人としての自覚を持ち、全ての行動に責任を持って最善を尽くします。」と謝辞を述べました。

式典終了後、新成人のみなさんは実行委員会の主催で開催された同級会に出席し、級友との久しぶりの再会に話を弾ませていました。



200人が大人の仲間入り

祝 成人おめでとう

= 平成17年鏡石町成人式 =

平成17年鏡石町成人式が、1月9日(日)午前10時30分から町公民館で厳かに開催されました。

今年、昭和59年4月2日から昭和60年4月1日までに生まれた男性115人、女性85人の合計200人が新成人として大人の仲間入りを果たしました。

式典には、艶やかな振り袖姿の女性や、真新しいスーツやはかま姿に身をつつんだ男性136人が出席しました。

小林舞さんが成人証書を授与

式典では、出席者全員で国歌「君が代」を斉唱したあと、木賊町長が「町では、町民の方と連携し、「ほんとうの幸せ」を実感できるまちづくりを進めています。その実現のため次代を担うみなさまの協力をお願いします。」、稲田耕作教育委員長が「新成人のみなさまには、「鏡石人」として誇りを持って地域社会や国際社会に関わって頂きたい。」と式辞を述べました。

続いて、新成人を代表して



力強く宣誓する會田まなみさん、のぞみさん



艶やかな振り袖姿

木賊町長から、小林舞さんに成人証書が授与されたあと、双子の會田まなみさん、のぞみさんが「成人証書を手にした今日の喜びをかみしめて、一層心身の鍛練と教養の向上に努めます。」と力強く誓いのことばを述べました。

そのあと、菊地栄助町議